

EMC・無線測定用ワゴン車

ネットワーク・通信

概要 鉄道沿線および鉄道車両周辺における電波雑音強度や、地上デジタル放送の受信品質、無線通信の伝送品質等を測定・評価するための各種装備を搭載した測定用自動車です。鉄道用EMC規格(IEC62236)に準拠したEMC性能評価試験、地上～車上間の電波伝搬実験、ワゴン車を模擬基地局や模擬車上局に見立てたデータ伝送品質の測定評価試験などを行うことができます。

特徴

- ◆ 測定用のアンテナを10mの高さまで上昇させることができる電動ポールを搭載しています。
- ◆ 測定機器用の電源供給設備として、発電機などからAC100Vを供給できる外部電源入力端子と、車載バッテリーからAC100Vを供給するためのインバータを装備しています。
- ◆ ワゴン車の後部は測定室となっており、測定目的に応じて測定器や無線機を自由にレイアウトできる測定台を装備しています。

主要諸元

- ◆ 原動機・駆動 : 2500ccディーゼル・4WD (Nox・PM法適合)
- ◆ 車軸寸法 : 全長 4760mm、全幅 1700mm、全高 2490mm
- ◆ 車軸重量 : 自重 2380kg、最大積載量 750kg、総重量 3295kg
- ◆ その他主な装備
 - ✓ 電動アンテナポール(アンテナ地上高2.5m～10m)
 - ✓ 測定用電源盤(AC100V外部電源入力 / 車載バッテリー+インバータ)
 - ✓ 測定台、機材収納棚、測定員用椅子
 - ✓ 室内灯、車外サーチライト、屋根上デッキ、ケーブル通線箱



EMC・無線測定用ワゴン車外観

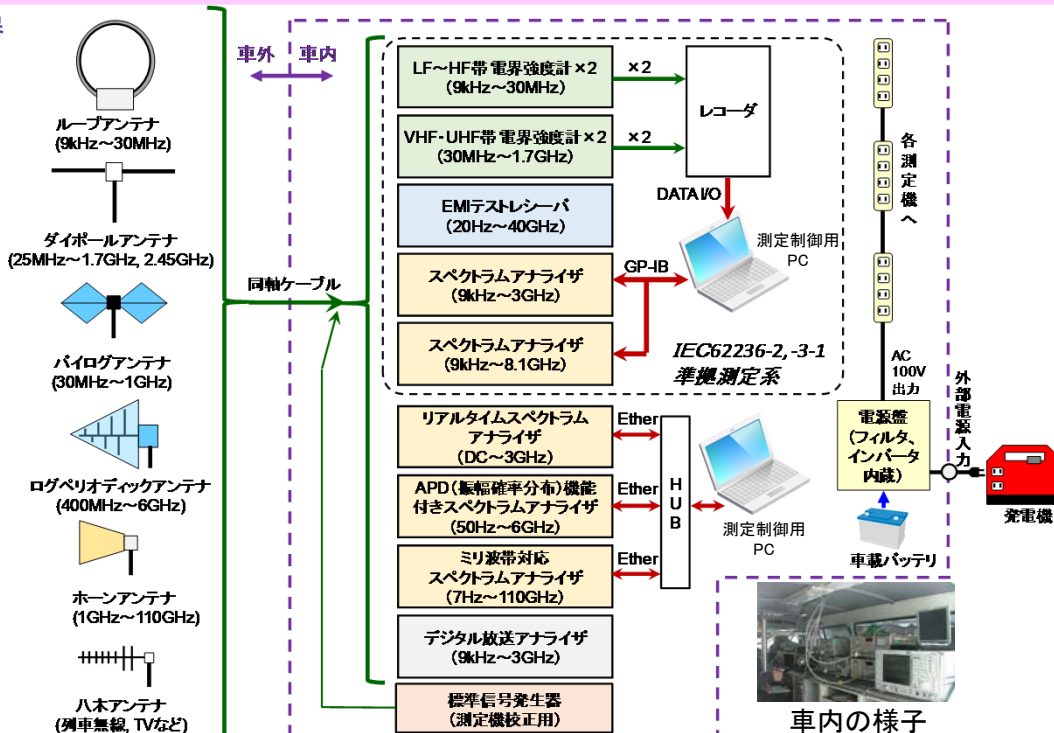


IEC 62236-2準拠の測定試験でのアンテナ設置例



地上デジタル放送の受信品質測定評価試験の様子

測定機器接続例



【関連項目】 ◆ 鉄道用の無線通信システムの設計支援 [評価・開発支援⑧](p.8)
 ◆ 電波環境の測定・評価 [評価・開発支援⑨](p.9)